

発行所 近畿税理士政治連盟 発行人 南出力利 編集人 後安宏彦

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> MAIL info@kinzeisei.jp

岸和田祭り（大阪府岸和田市）

撮影：川崎和幸（岸和田支部）

焦点

民主党政権になってから3代目となる野田内閣が誕生したが、1年ごとの恒例の行事と覚えてしまう。その度に、我々が関係する税制改正の仕組みについても大きく変更されてきている。

政権交代当初は、政策決定の内閣一元化の視点から政府税制調査会が議論・決定を行った。これでは国民の代表である国会議員が議論に参加できないという理由で、民主党政策調査会が復活し、そこで議論し政府税制調査会に提言を行えるようにした。しかし、やはり以前の方式のほうが良いとのことで、民主党税制調査会が復活することになり、党が議論・決定の主導権を握る有様である。

クルクルと変わり戸惑ってしまう。試行錯

誤はこれで終了し、いよいよ本格的な体制となるのか。そうあって欲しいものである。今こそ、安定した政治を求めたいものであるが、何か根本的におかしいのではないかと感じてしまう。

今ほど、税制が難しい時期はないのではないだろうか。財政問題、復旧財源、社会保障と税の議論が同時に進められている。特に消費税は避けることのできない問題であり、消費税率を引き上げるならば総選挙で信を問うと言われている。そうすると政権交代がまたあるかもしれないし、そうなればまた仕組みも変わるかもしれない。しかしながら、税政連の進むべき方向性は明確である。独立した公平な立場での提言とその実現を目指すのみである。仕組みが変わっても、税政連は国民の立場に立って柔軟に対応していく。

第45回定期大会 会長あいさつ

去る8月30日、衆参両院において首班指名投票が行われた結果、新しく野田内閣が誕生しました。当連盟推薦国会議員の先生方が、政府、国会及び与野党において要職に就かれています。我々の要望活動の環境がさらに整いつつあります。これもひとえに、支部、支部連そして後援会が一体となって、各地元で後援活動を進めた賜物であると感謝を申し上げます。

平成23年度税制改正につきましては、昨年12月16日に税制改正大綱が閣議決定され、我々の要望のうち「法人税の税率及び中小法人に対する軽減税率の引き下げ」や「欠損金の繰越控除制限から中小法人等を除外」などが盛り込まれました。しかしながら国会審議が進まず、期限切れとなる租税特別措置については6月22日に延長法案が成立しましたが、所得税をはじめ法人税や相続税等の改正については成立していません。今後の動向を注視していくことが必要です。

また、平成23年度税制改正大綱には「税理士制度について見直しの必要性や方向性の結論を出す」と明記されています。税理士法が平成13年に改正されてから10年が経過し、税理士を取り巻く環境の変化に積極的な対応をするためにも税理士法の改正を実現しなければなりません。当連盟においては、日税政の方針に沿い近税会と連携を強化し、関係国会議員等に対し、税理士会及び税理士制度への正しい理解が得られるよう陳情を行い、日税連の要望に沿った改正実現に向けて運動を進めてまいります。

税政連活動の活性化については、議員の後援活動が大変重要です。そして支部・支部連の活動と後援会を含めたそれぞれの連携も大変重要なことです。各後援会におかれましては、是非とも税政連活動の主軸として、日常活動や組織の拡充に積極的な取り組みをいただきますようお願い申し上げます。本部においても出来る限りの支援を行ってまいりたいと考えています。

会費収納率の向上への取り組みとしては、広報活動に積極的に取り組みを行いました。また「支部長・後援会会長連絡会議」を通じて、支部のご協力をお願いするとともに、施策についてのご意見を頂戴いたしました。その結果、一部の支部連及び支部においては収納率を大きく改善していただきました。後ほど感謝を含めて表彰させていただきます。表彰にもれた支部連、支部におかれましても、成果を挙げていただいているところもございます。ご尽力いただいたすべての皆様に表彰状を差し上げたいところではございますが、1つの支部連及び支部の表彰とさせていただいておりますことをご了解賜りたく存じます。

また、8月2日開催の総務会において役員表彰規程が承認されました。本日は近畿税理士政治連盟の発展にご尽力いただいた皆様も表彰させていただくこととしております。

我々税政連はさらなる力を養っていかねばなりません。そのために会員先生方のご理解とご参加を是非ともお願いしたいと考えております。

組織の強化のためには、会員一人一人に税政連活動の意義を理解していただくことが必要です。本部においては引き続き研修会の開催等をはじめ、一人でも多くの先生方にご参加いただける機会を準備することを検討することとしています。

税政連の組織が拡充強化され、懸案が解決するよう、一層のご支援ご協力をお願いするとともに、ご参集いただきました皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。



会長 南出力利

目次

定期大会会長あいさつ	2
第45回定期大会・国政報告会・懇親会	3
後援会ニュース	8
支部連ニュース	11

連

載

焦点	1
かんさいすずめ	15

第45回定期大会・国政報告会・懇親会

～ 9 月 9 日 (金) 帝国ホテル大阪～

定期大会

9月9日、第45回定期大会が帝国ホテル大阪「エンパイアルーム」において開催された。司会の石原牧選対委員長の開会宣言の後、この1年間に亡くなられた会員に対し黙祷が捧げられた。

最初に、来賓として小川令持日本税理士政治連盟幹事長、川本富美雄近畿税理士会副会長、内藤信子東京税理士政治連盟会長、和田義弘名古屋税理士政治連盟会長、濱田健名古屋税理士政治連盟幹事長、当連盟名誉会長、相談役の紹介がなされた。

南出力利会長の力強い挨拶の後、議長には明石支部の田中勇治代議員、副議長は泉佐野支部の呑海英治代議員が選任され議事に入った。

第1号議案について井戸本泰次幹事長より、運動経過報告についての説明があり、税制改正の取り組みについては、緊急かつ重要な11項目の要望を関係国会議員に対し陳情した。3月11日の東日本大震災の発生により震災への対応が優先され実質審議は行われてない状態であった。6月22日、期限切れ租税特別措置の延長等の法律案は可決成立したが、経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律案は、審議継続とな



井戸本泰次 幹事長

った。税理士法改正については、関係国会議員等に対し陳情をした結果、平成23年度税制改正大綱に、税理士制度の見直しについての検討を進めるという文言が挿入された。その他、公職選挙に対する支援活動、会費収納に対する財政問題等々について趣旨の説明があった。

第2号議案の収支決算については、橋本光世財務委員長より各項目について説明がなされ、木下雅裕会計監事から適正であるとの監査報告があった。第1号議案、第2号議案とも賛成多数で承認可決された。

第3号議案については、田達満政策委員長より、1.進展する社会の要請に応え得る税理士制度の確立、2.公正で合理的な租税制度の確立、3.税理士の社会的地位の向上と権益の確保、拡充という目的達成のための運動を強力に展開するという説明がなされた。

第4号議案は、田政策委員長より、7委員会が行う具体的活動方針が説明された。

第5号議案は、橋本光世財務委員長より平成23年度収支予算の説明がなされた。第3号議案、第4号議案、第5号議案とも賛成多数で承認可決された。

第6号議案は任期満了に伴う役員改選について、原綱宗総務会長より役員改選案が提示され原案通り選任された。



田中勇治議長 (左)、呑海英治副議長



左から山川典男、根来直代、前川武政
山田由美子、弓手宏亮の各代議員

最後の第7号議案は、田政策委員長より、5項目の大会決議が読み上げられ賛成多数で承認可決された。

議事終了後、5人の代議員により大会決議文が1項目ずつ声高らかに読み上げられた。

その後、来賓4名からの祝辞が述べられた後、退任役員を代表して久保直己副会長の挨拶があり、新任役員を代表して南出会長が挨拶を述べた。

また、今回から、本連盟の発展に貢献のあった役員に対し表彰をすることとなり、45名が表彰された(8頁参照)。また、会費収納率に顕著な成績を挙げた、和歌山県支部連合会、大阪府第4支部連合会、天王寺支部、東大阪支部、彦根支部、宮津支部がそれぞれ表彰された。

最後に、徳富勲副会長より閉会の挨拶があり定期大会は終了した。

来賓祝辞の要旨

小川令持 日本税理士政治連盟幹事長

東日本大震災について、日税政は日税連と連携して、税の専門家として相応しい支援をしてゆく。平成23年度税制改正大綱では更正の請求期間の延長などが国会において審議されているが残念ながら成立していない。平成24年度税制改正要望は8月8日に財務大臣に手交し、その実現に向け活動を開始した。国政選挙の対応については税理士制度に精通した国会議員が一人でも多く国政において活躍できるよう積極的に対応してゆく。

川本富美雄 近畿税理士会副会長

東日本大震災について、日税政は日税連と連携し翌日には、納税申告書の提出期限延長等に関する緊急要望書を提出するなど、いち早く対応した。税政連としては今後も特定の政党に偏ることなく我々の業界に理解をしていただく議員と連携し、協力してゆかなければならない。税理士制度の目的達成のため、ご支援ご協力を賜りたい。

内藤信子 東京税理士政治連盟会長

通常国会は8月31日に閉会した。特例法案は成立したが、平成23年度税制改正法案の基幹税など、3党合意の下、協議されているが、成立していない。新内閣において早く成立させてほしい。税理士法改正では、国税庁、主税局、日税連と日税政で勉強会がスタートしている。

和田義弘 名古屋税理士政治連盟会長

日頃は近畿税政連にはお世話になっております。これからも協力してゆきたい、と丁寧なご祝辞を頂いた。(西宮支部 森本幸子)

国政報告会

第45回定期大会に引き続いて、桑野秀朗国対委員長司会の国政報告会が開催された。本年度は、9月2日に野田佳彦新内閣が発足したばかりという時期にもかかわらず、15名の国会議員等の出席があった。各議員からは、日頃の支援に対する感謝の言葉、今年度の税制改正をはじめ、東日本大震災に対する取り組みなどについて報告があった。

国政報告会に出席した国会議員等は、登壇順に、福山哲郎参議院議員(民主・京都府)、関芳弘前衆議院議員(自民)、松岡広隆衆議院議員(民主・比例近畿)、岸本周平衆議院議員(民主・和歌山1区)、中山泰秀前衆議院議員(自民)、石川博崇参議院議員(公明・大阪府)、梅村聡参議院議員(民主・大阪府)、西野あきら衆議院議員(自民・大阪13区)、中馬弘毅前衆議院議員(自民)、竹本直一衆議院議員(自民・大阪15区)、中山太郎前衆議院議員(自民)、中野寛成衆議院



小川令持 日税政幹事長



川本富美雄 近税会副会長



内藤信子 東京税政連会長



和田義弘 名古屋税政連会長

議員(民主・大阪8区)、西田昌司参議院議員(自民・京都府)、尾立源幸参議院議員(民主・大阪府)、北川イッセイ参議院議員(自民・大阪府)。

代理出席は、石井登志郎衆議院議員(民主・兵庫7区)、三日月大造衆議院議員(民主・滋賀3区)、松井孝治参議院議員(民主・京都府)。(順不同)

最後に久保直己副会長より「本日の国政報告会へ多数の国会議員等に参集賜り、お礼申し上げます。本日承認された5つの大会決議に基づく近税政の活動にご支援を願う」との挨拶があり、国政報告会は閉会した。(柏 之雄)

懇 親 会

国政報告会に引き続き、後安宏彦広報委員長の司会により懇親会が開催された。開会挨拶、来賓挨拶の後、中野寛成衆議院議員が乾杯の発声を行い、国会議員等が一人ずつ登壇し、挨拶及び国政報告を行った。

懇親会から参加した国会議員等は、到着順に

松浪健太衆議院議員(自民・大阪10区)、北側一雄前衆議院議員(公明)、原田憲治前衆議院議員(自民)、左藤章元衆議院議員(自民)、渡嘉敷奈緒美前衆議院議員(自民)、大塚高司前衆議院議員(自民)。

地方議会議員(税理士会会員)は、到着順に栗原貴子大阪府議会議員、柴谷匡哉大阪府議会議員。

代理出席は、藤村修衆議院議員(民主・大阪7区)、松本剛明衆議院議員(民主・兵庫11区)、山口壯衆議院議員(民主・兵庫12区)、滝実衆議院議員(民主・奈良2区)、高市早苗衆議院議員(自民・比例近畿)、田野瀬良太郎(自民・奈良4区)、二階俊博衆議院議員(自民・和歌山3区)、柳本卓治衆議院議員(自民・比例近畿)、谷川秀善参議院議員(自民・大阪府)、白浜一良参議院議員(公明・大阪府)、鴻池祥肇参議院議員(自民・兵庫県)、北川知克前衆議院議員(自民)、奥野信亮前衆議院議員(自民)。(順不同)

(柏 之雄)

第45回定期大会 国政報告会



福山哲郎 参议院議員



関 芳弘 前衆議院議員



松岡広隆 衆議院議員



岸本周平 衆議院議員



中山泰秀 前衆議院議員



石川博崇 参议院議員



梅村 聡 参议院議員



西野あきら 衆議院議員



中馬弘毅 前衆議院議員



竹本直一 衆議院議員



中山太郎 前衆議院議員



中野寛成 衆議院議員

・懇親会 来賓国会議員等



西田昌司 参議院議員



尾立源幸 参議院議員



北川イッセイ 参議院議員



松浪健太 衆議院議員



北側一雄 前衆議院議員



原田憲治 前衆議院議員



左藤章 元衆議院議員



渡嘉敷奈緒美 前衆議院議員



大塚高司 前衆議院議員



栗原貴子 大阪府議会議員



柴谷匡哉 大阪府議会議員



(ご登壇順)

第45回定期大会における表彰

役員表彰者

1号基準(本部役員・委員、府県連会長、支部連会長、支部長を10年以上在職した者)

赤堀 精一	鮎川 純利	石津 良行	石原 牧	井戸本泰次	今中 英雄
植田 潔	上原 昭二	大高 友紀	大西 啓介	大村恵美子	柏木 勝志
河合 正美	河田 秀雄	九鬼 郁雄	久保 直己	黒田 有紀	小寺 隆弘
里田 好	澤田 千博	関本 孝一	竹内 芳彦	竹綱 敏真	田中 勇治
谷口 康夫	徳富 勲	橋本 光世	平山 直樹	福長 俊之	藤本 正人
細谷 陸雄	三浦八重子	三木 政司	南谷 慎一	南出 力利	森村 透
雪松 弘					(敬称略)

3号基準(後援会会長を10年以上在職した者)

池田 進	石原 紀一	幸田 豊	武野 勝文	内藤 強	廣瀬 来三
松尾 八郎	森永 牧雄				(敬称略)

支部および支部連の表彰

1. 支部連合会の部

①平成22年度会費収納率第1位(第1条第1号)

和歌山県支部連合会

②平成21年度から平成22年度の会費収納率の純増1位(第1条第2号)

大阪府第4支部連合会

2. 支部の部

(イ) 第1グループ(予算額500万以上)

①平成22年度会費収納率第1位(第2条第3項第1号)

天王寺支部

②平成21年度から平成22年度の会費収納率の純増1位(第2条第3項第2号)

該当なし(近税政全体の収納率以下のため)

(ロ) 第2グループ(予算額100万以上500万未満)

①平成22年度会費収納率第1位(第2条第3項第1号)

東大阪支部

②平成21年度から平成22年度の会費収納率の純増1位(第2条第3項第2号)

東大阪支部

(ハ) 第3グループ(予算額100万未満)

①平成22年度会費収納率第1位(第2条第3項第1号)

彦根支部

②平成21年度から平成22年度の会費収納率の純増1位(第2条第3項第2号)

宮津支部

以上

後援会ニュース

関よしひろ後援会

平成23年7月15日、神戸市須磨区の魚チにて、税理士による関よしひろ後援会第3回定期大会が開催された。

来賓として、関よしひろ前衆議院議員、井戸本泰次近税政幹事長、近税政兵庫県第一支部連より竹中征二郎会長、池田進幹事長が出席した。

佐々木仁朗副幹事長の司会により、開会のことばの後、杵田裕顯会長より、現在の政情について触れながら「関先生には、次回の選挙に向けて、頑張ってもらいたい、われわれも引き続き



応援していく」との挨拶があった。

そして、議長に植松副幹事長が選出され、議事に入った。第1号議案及び第2号議案は、原

案通り、承認可決された。

次に、来賓の井戸本近税政幹事長より「厳しい状況である今こそ、先生を支援することが後援会の役割である。23年度の税制改正にある国税通則法の改正、税理士法の改正は、我々への影響が大きい。これらを含め、勉強会を重ねて頂きたい。若い力を国会へ送り、様々な制度改革を行い、後援会活動にも力を入れて頂きたい。そして関先生には、次回の選挙で当選してもらいたい」との挨拶があった。

続いて、関前議員から、現在の政治情勢、自身の活動の報告がなされ「2年前の選挙戦が思い出される季節となったが、日頃の皆様の温かい支援に心から感謝する。現在の厳しい日本経済の下、重要なのは、いかにして日本が世界の中で競争優位となるのか、少なくとも現在の日本の状況を維持することができるのか、将来の展望を持って、活動を行っていききたい。日々頑張っておりますので、今後も支援をお願いしたい」との挨拶があった。

最後に、出席者全員で関前議員へ「頑張ろう」と三唱を行い、定期大会は終了した。

引き続き懇親会が開催され、盛会のうちに閉会した。(芦屋支部 吉田智代)

西野あきら後援会

7月29日、ホテルアウィーナ大阪において、税理士による西野あきら後援会総会が行われた。

来賓として西野あきら衆議院議員、大村恵美子近税政副会長、雪松弘近税政大阪府第4支部連会長が出席した。

司会の高岡稔幹事長が挨拶をし、幹事長より一年間の事業報告があった。

最初に弓手宏亮後援会会長より挨拶があった。次に、雪松弘税政連第4支部連会長より「ごちそうが出た時、一番好きなものを最初に食べるのか、最後までとっておくのか、2通りのタイプがあると思います。ところが、日本の原発事故、中国の列車事故等、難しい仕事、不都合



なことがあると問題を先送りする傾向があります。心すべきは問題を先送りしても何の解決にもならないということです。自分が、そして組織が今どの立場にいて、どう演じているのか、いつも考えたいものです」と挨拶があった。

次に、大村恵美子税政連副会長より、「自民党副幹事長、環境副委員長を担当、経済財政政策に精通している西野先生には、日本の厳しい現状を回復するためご尽力賜りたい。税政連の中心は後援会活動であります。引き続き活発な活動を期待しております」と挨拶があった。

次に、西野あきら議員より「現在、総額3000億円の東日本大震災の義援金を国民の方々から頂いておりますが、28%しか分配されていません。今の政権ではスピード感が無い。一日でも早く被災者皆様に行き渡るよう与野党を超えて取り組むよう提言しています。少しでも早くするために国から仮払いするという方法もあるのではないかと。被災地の税制についても、特別な措置を設け一日も早い復旧になりますよう頑張っていきたい。また、本日このようにたくさんの会員の皆様に集まって頂き感謝の気持ちで一杯です」との趣旨の国政の報告があった。

その後、石津良行顧問の乾杯の発声により、懇親会が開かれ、和やかな雰囲気のもと閉会した。(東大阪支部 政本彰人)

松浪ケンタ後援会

税理士による松浪ケンタ後援会第3回定期大会が、7月29日、高槻市民文化会館において開催された。



来賓として、近税政より河田秀雄副幹事長、大阪府第3支部連より上西通氏会長が出席した。

皆元利一副会長の司会により開会し、開会宣言の後、議長に長井良明相談役が選出され、直ちに議案審議に入った。議案については担当副幹事長から説明があり、第1号から第4号の各議案について慎重に審議され、原案どおり満場一致で可決された。

続いて谷丸八郎後援会会長から、松浪議員の税理士業界及び中小企業発展のための活動に対し謝辞があり、「本年3月11日の東日本大震災の影響もあり、平成23年度税制改正法案のメドが立っていない現状下であるが、税理士会からの今後の税制改正に関する意見書等についても、要望等の実現に向け松浪健太議員の協力をお願いしたい」と挨拶があった。

次いで、松浪議員からは「今年5月には、超党派の道州制懇話会を設立し、東北復興特区の提唱をした旨の報告があり、今後は政党に縛られず新しい政治の流れを作り、ベンチャー政治家として時代に合った政治活動をしていきたい。一層のご支援をお願いしたい」との挨拶があった。

続いて河田秀雄副幹事長が、「税理士は納税者の代弁者としての税政連活動が必要である。この税政連活動を通じての税制法案立法への関与の重要性を会員に積極的に伝えて欲しい」との力強い挨拶があった。

この後、高岸久典副会長が閉会の挨拶をし、定期大会は終了した。

引き続き懇親会に移り、仲猛夫茨木支部長が開会を宣し、上西通氏大阪府第3支部連会長の乾杯の後、参加者一同歓談し、今中英雄近税政副会長の中締めの挨拶をもって盛会のうちに散会となった。(豊能支部 和田秀幸)

岸本周平後援会

7月23日、和歌山市の和歌山県税理士会館において、25名の会員の出席のもと「税理士による岸本周平後援会」の定期大会が開催された。



岸本周平衆議院議員、近税政本部より井戸本泰次幹事長、和歌山県支部連より後安宏彦会長が来賓として出席した。

最初に溝上裕章会長の挨拶のあと、議案審議に入り、全議案承認可決した。幹事長に、鵜島信二会員が新たに選任された。

次に、岸本衆議院議員が税制改正、企業財務会計士問題、税理士法改正などについて国政報告を行った。会員から、社会保険料・労働保険料の負担額が中小企業に重い負担となっている現状等の報告があった。

平成24年度税制改正要望を行った後、井戸本近税政幹事長は現在の税政連活動の概況を含めた挨拶を行った。

岸本議員は、衆議院財務金融委員会理事・民主党政策調査会長筆頭補佐を現在務められ、税制には特に詳しく、我々に身近な存在である。

(和歌山支部 後安宏彦)

支部連ニュース

大阪府第1支部連

大阪府第1支部連合会(東、南、西、港、天王寺、浪速、生野、阿倍野、東住吉、住吉、西成)第16回定期大会が、平成23年8月24日に天王寺東映ホテルにて開催された。



河南政明 前支部連会長

来賓として、近畿税理士政治連盟から井戸本泰次幹事長、山下孝士柳本卓治後援会会長、久田輝雄中馬弘毅後援会会長、鮎川純利左藤章後援会会長が出席した。

司会の細川雅敏支部連幹事長が開会を宣し、河南政明支部連会長より「昨年7月の参議院選挙及び本年4月の地方統一選挙、並びに、確定申告期の国会議員による納税相談会場視察につきまして、快くご協力頂き誠に有難うございます。今後も税政連活動の重要性をアピールして行きたいと思います」と挨拶があった。

次いで、東支部の梅崎道夫会員が議長に選出され議案審議に入り、第1号議案から5号議案まで承認可決された。

続いて、井戸本近税政幹事長より日本税理士政治連盟および近畿税理士政治連盟の活動報告として、平成23年度の税制改正及び平成24年度の税制改正について、また税理士法改正では、この6月30日に税理士政治連盟が中心となり、1回目の税理士会、国税庁、主税局の3者が合同で勉強会を始め、今後月1回のペースで勉強会を開催していくことになったと話があった。

引き続き行われた国政報告会・政治活動報告会には、柳本卓治衆議院議員、中馬弘毅前衆議院議員、左藤章前衆議院議員、尾立源幸参議員秘書の出席があり、それぞれ、税理士による後援会への感謝の意を述べると共に、政治への熱い思いを語られた。

その後、若林日出紀新支部連会長の挨拶により懇親会が開会された。栃本彌四郎支部連副会長の乾杯の後、終始和やかに歓談し、盛会裏に終了した。(生野支部 小川由美子)

大阪府第3支部連

大阪府第3支部連合会(茨木、吹田、豊能)の第30回定期大会が、8月18日に吹田市文化会館にて開催された。

九鬼泰章支部連幹事長の司会により開会宣言された。田達満近税政副幹事長が来賓として紹介された。



上西通氏 前支部連会長

はじめに、上西通氏支部連会長の挨拶があった。当支部連区域内には現在6つの後援会があり、さらに大谷信盛議員の後援会が設立準備しており、7つの後援会ができることになる。当支部会員約750名の人数で支えるためにも、積極的に後援会に参加し、政治連盟の活動に支援を賜りたい。二点目は政治連盟会費未納者にも政治連盟の活動を周知し、政治連盟の活性化を促したい。

続いて、平山直樹会員が議長に指名され、議

事録署名人を指名。そして議案の審議に入った。第1号議案から第5号議案の任期満了に伴う役員改選等の件まで、すべての議案が賛成多数で承認可決され、大西尚史新支部連会長、光成創新幹事長が選任された。

続いて、来賓の田近税政副幹事長による祝辞があり「今日の政治情勢などにより、税制改正が遅れており、国会議員に早期の成立の要望書を提出した。そして何より税政連会費収納の向上をお願いする」と話をされた。その後、南出会長、中野寛成議員他からの祝電が読みあげられ、大会は閉会した。

このあと懇親会が開催され、光成新幹事長が司会をし、大西新会長が懇親会開会の挨拶とともに、就任の抱負を述べた。そして懇親会は盛会のうちに終了した。(吹田支部 石井碧八)

大阪府第4支部連

大阪府第4支部連合会(東大阪、八尾、富田林)第28回定期大会が、8月29日大阪市天王寺区のホテルアウィーナ大阪で開催された。

来賓として、井戸本泰次近税政幹事長が出席した。

竹綱敏真副会長の開会宣言があり、雪松弘支部連会長より「今年4月10日に行われました大阪府議会議員選挙において、八尾支部の柴谷匡哉会員が見事当選されました。今日の定期大会に出席でございます。後程ごあいさつをいただきたいと思います。次に第4支部連の平成22年度会費の収納率が53.35%となり前年比2.41%増加し、東大阪支部単独では63.55%、前年比5.41%と大幅に増加し、9月9日開催の近税政定期大会で表彰されることになりました。日頃の税政連活動にご理解、ご支援を頂いたものと深く感謝しております」との挨拶があった。

続いて、藤本純会員が議長に選出され、直ちに議案の審議に入り、第1号議案から第5号議案のすべてについて、満場一致で承認可決された。

続いて、来賓の井戸本泰次近税政幹事長より「税理士法第3条及び第8条の改正案を提案し



雪松弘前支部連会長

ている。つまり、現在、弁護士及び公認会計士について、自動的に税理士資格を登録できる状態になっているが、弁護士については会計科目、公認会計士については税法に属する科目に合格することを原則とするとの方向を日税連で提案している。この提案に公認会計士協会は、全く検討に値しないものとして、反対意見を発表しております。今後、隣接職種の関係がどのようになっているのか、注目していく必要があるし、税理士会の将来もかわってくる問題である。これからも税政連活動に協力し成果を出して行きたい」と挨拶があった。

大会のなかで、先の大阪府議会議員選挙において、八尾選挙区より当選された柴谷匡哉大阪府議会議員(民主党)が紹介され議員よりお礼の挨拶があった。弓手宏亮副会長より閉会の挨拶があり、大会が終了した。

その後、懇親会が行われ、和やかな雰囲気のもと閉会した。(東大阪支部 政本彰人)

京都府支部連

残暑厳しい中、京都府支部連合会第29回定期大会が8月26日、ホテルグランヴィア京都において開催された。

来賓として、伊吹文明衆議院議員、二之湯智参議院議員、西田昌司参議院議員、山田啓二京都府知事(代理太田昇副知事)、門川大作京都市長、南出力利近税政会長が出席した。

中野顕一副会長が開会を宣した後、関本孝一会長が「現在、税理士会からの要望が多く取り



関本孝一 前支部連会長

入れられるようになってきている。これを継続していくためには、税政連の活動が重要となってきている。よって、税政連活動の更なる強化のために、会費収納率の向上を従来どおり推進しつつ、税政連活動を特に若い税理士会員にご理解いただき、参加していただくことを望む」と挨拶した。

北村善和会員が議長に選任され、直ちに議案審議に入り、第1号議案から第6号議案のすべてについて、原案通り満場一致により可決承認された。

引き続き、奥村和義新会長が「会費収納率の向上、若い税理士会員の参加等を考慮し、今までと違った新しい方式での活動をし、裾野を拡げていきたい」と挨拶された。

その後、来賓の南出力利近税政会長より「京都府下選出の国会議員の先生方からは、税政連活動に積極的に協力いただいている。このような状態を継続していくためにも、税政連として裾野を拡げていくことは、会費収納率と同様、非常に重要なテーマである。京都府支部連の新しい体制での活動に期待する」と挨拶があった。

続いて、来賓国会議員等が順次挨拶を行い、また、前原誠司衆議院議員、福山哲郎参議院議員、松井孝治参議院議員、谷垣禎一衆議院議員の祝電を披露した後、志田育夫副会長の閉会のことばをもって大会は終了した。

総会終了後、懇親会が開催され盛会のうちに閉会となった。(下京支部 榎 和哉)

兵庫県第2支部連

兵庫県第2支部連合会(明石、加古川、洲本、三木、西脇、社)平成22年度定期大会が、8月31日、グリーンヒルホテル明石において開催された。



来賓として徳富勲近税政副会長、井戸本泰次近税政幹事長が出席した。

北村光子幹事長の司会により、照屋さつ子副会長の開会の挨拶の後、市原幸恵副会長が議長に指名され議案の審議に入った。平成22年度運動経過報告をはじめとするすべての議案が、承認可決された。

任期満了につき、役員の改選が提案され、北村光子会長、藤本晃幹事長がそれぞれ選任された。

次いで、来賓の徳富近税政副会長より「新執行部の発足を祝する」次いで、井戸本近税政幹事長より「兵庫県4支部連中唯一、会費収納率を伸ばして頂いたこと、全体の収納率を大きく超えたことに感謝する」との祝辞があった。その後、森信博副会長より閉会のことばをもって、定期大会は無事終了した。

引き続き、役員・代議員会が開催された。北村支部連会長の挨拶の後、井戸本近税政幹事長より、後援会活動の基準として後援会支援規程が制定されており、あるべき後援会活動、税理士法の改正について現況の報告があった。

徳富勲近税政副会長より兵庫県下の後援会活動の実態についての報告があり、第2支部連合会が抱えている兵庫4区、9区、10区を中心と

しての県下の選挙情勢が報告された。

西村やすとし後援会からの報告として河合正美副会長より今年度の活動予定として会員数の把握と会費の納入状況の照合、国政報告会を実施したい旨の報告があった。次いで、渡海紀三朗後援会からの報告として平崎泰彦副会長より、意見交換会を実施したい旨の報告があった。

予定時間が迫る中、篠原幹人副会長の挨拶で締めくくりとなった。

役員会終了後、上山泰弘副会長の挨拶と乾杯の発声により、懇親会が開催され、和やかなうちに河合副会長の中締で散会となった。

(明石支部 星川啓明)

奈良県支部連

近畿税理士政治連盟奈良県支部連合会定期大会

期日 平成23年 8 月20日

会場 春日ホテル (奈良市)

【来賓】

滝 実 衆議院議員 (奈良 2 区)

高市 早苗 衆議院議員 (近畿比例)

田野瀬良太郎 衆議院議員 (奈良 4 区)

奥野しんすけ 前衆議院議員

大村 恵美子 近畿税理士政治連盟副会長

黒田 浩之 近税会 奈良県支部連会長

中畠大幹事長の司会で始まり、来賓の紹介に続いて東口哲夫会長の挨拶があり、日頃の税政連の活動、特に後援会を中心とした活動に感謝する。要望を実現する政治力が重要になってきているので、税制改正及び税理士法の改正に政治力を期待する。

続いて議長に上松康員会員を選任し、議事を原案通り承認可決した。また、新たに山本眞一(葛城支部)支部連会長、武野勝文(奈良支部)幹事長が選任され、今後の活躍を期待された。

次に各後援会会長から衆議院議員及び前議員に対し日本税理士会連合会・日本税理士政治連盟の『平成24年度税制改正に関する要望書』を手交した。

各議員から、次のとおり、挨拶があった。



山本眞一 新支部連会長

◆高市早苗議員

経済団体等から熱心に税制改正要望が出ている。事業者を元気にするように頑張っていく。日頃のご支援に感謝する。

◆奥野しんすけ前議員

日本はこれから産業構造が変わっていく。税制も社会の変化を見ながらしっかり充分議論していかなければならない。

◆滝実議員

社会保障・税の一体改革を進めなければならないが、その財源の道筋を付けなければ進むことができない。デフレからの脱却が必要である。震災の復興も大事である。これから国会は懸案事項を解決して行かなければならない。

◆田野瀬良太郎議員

これから税理士会から受取った税制改正の要望書を確認して行きたい。自民党も民主党新政権と大胆な政治をやっていかなければならない。大きな政策で違いを克服して国民の期待に応えたい。

◆大村恵美子近税政副会長が南出力利近税政会長メッセージを代読

今回新たに選出された役員が活動を活発にされることを期待している。関係国会議員に対し税理士制度の正しい理解が得られるように陳情していく。税政連に対する評価も高くなっており益々努力していきたい。

最後に、武野勝文税理士による高市早苗後援会会長による閉会の挨拶で定期大会を閉会した。
(奈良支部 黒田有紀)

ラジオ体操に想う

今年の夏も昨年に引続き異常に暑かった。

4年ほど前に医者からメタボの診断が下りウォーキングを始めた。戦後生まれの団塊世代の特質かもしれないが、毎日1時間程度雨の降る日以外はひたすらウォーキングを行った。当初はなかなか体重減には繋がらなかったが、3カ月を経過したところから徐々に体重が減り始め、1年半で最重量から13kgの減量となった。その後はより速く、より遠距離へと気持ちに向かい、ウォーキングの開始時と終了時のストレッチを怠ってしまった。

その結果、今年の夏ごろに足を痛めた。それからはや1年が経ち、気が付くと体重は4kgも増えていた。ウォーキングを再挑戦しようと考えたが、如何せん猛暑日が続く状況では、意欲もはなくなつてしまった。しかしこのままでは体重の増加を食い止める事ができないと奮起し、朝6時25分からの「NHK Eテレ」のラジオ体操に挑戦してみた。その結果体調がすこぶる好いのでこれからも継続、維持したいと思っている。

そこでラジオ体操の歴史を調べてみると、昭和3年に当時の通信省簡易保険局（現在の㈱かんぽ生命保険）が国民の体力向上、健康保持増進を目的とする「国民保健体操」を制定し、東京中央放送局（現在のNHK）のラジオで放送したことが始まりらしい。その後NHKが番組として全国に普及させ、初回の放送から戦後の一時期を除き、80年以上続いている。平成11年9月には、より多くの人々が体操を出来るように配慮した「みんなの体操」が生まれ、「NHK Eテレ」のテレビ体操の放送時間帯において同時に放送されている。毎朝の放送時間になると50年程前の小学校時代を懐かしく想うとともに、これからもラジオ体操を継続し、健康維持に努め、仕事において活躍できるよう頑張りたいと思っている。

（岸和田支部 静幸太郎）



近税政本部のうごき

- 会計監査（8月3日）
- 第1回推薦審査会（書面審議）（9月6日）
 - ・東大阪市長選挙における推薦候補者の決定について
- 第44回定期大会（9月9日）
- 第2回広報委員会（9月13日）
 - ・機関紙第182号（5月号）の批評
 - ・機関紙第183号の編集に関する件
 - ・機関紙第184号の編集企画に関する件
 - ・その他

表紙写真募集

あなたの“撮っておき”の1枚を表紙に飾りませんか？応募をお待ちしております。

応募要領

- 未発表のオリジナル写真
- テーマは問いません
- 税政連の表紙にふさわしいもの
- 郵便またはEメールにて受け付けています。

郵便の場合

〒540-0012

大阪市中央区谷町1丁目5番4号

近畿税理士会館5階

近畿税理士政治連盟 事務局 宛

メールの場合

info@kinzeisei.jp

会費納入にご協力を！

近畿税理士政治連盟は会員各位の会費で運営されています。会費納入にご協力をお願いいたします。

郵便振替

口座 00910-9-0309299

名義 近畿税理士政治連盟

金額 13,200円（年額）

銀河系

去る9月9日、当連盟の定期大会が開催された。南出会長の挨拶にもあるように、税政連は、野田内閣の下でも当連盟推薦の国会議員等を通じて税制改正の要望を行い、また、税理士制度の見直しについても陳情を行っていくことを確認した。

本号の発行をもってこのメンバーでの委員会活動が終わる。2年間、編集・校正に携わることで、正しい表現や熟語の意味を学ぶことができた。この経験を生かし、これからの人生に役立てていきたい。

（後藤加代子）